



死んだ赤鬼

ハセガワアユム

ver.5.000

登場人物

和田マコト(30)・・・

切多摩市中西駐在所の巡査。

小田貞夫(32)・・・

市議会選に出馬予定の男。赤鬼相談所の指導員。

高崎光二(25)・・・

和田の部下。地元を愛してる。

金崎町子(25)・・・

和田の恋人。和田に隠れて鬼塚と交際していることを謝罪しに来る。

鬼塚（30代）・・・

町子のニュー彼氏。

野間（25）・・・

高崎の幼なじみ。犬を殺して刑務所へ行きたがる。赤鬼相談所へ通っている。

由季（22）・・・

赤鬼相談所で異彩を放つ無口な女。

小田ナオ（34）・・・

小田貞夫の妻。



△ごあいさつ（解説に代えて）▽

『死んだ赤鬼』は、シリアスな題材なのに非人道的なギャグが散りばめられている体裁ですが、実は根底にはデイヴィットリンチの映画みたいなテイストもあります。

場内アナウンスでは、「ギミックのある作品ですので隅々まで注目して観てください」と流れました。リンチの映画はもうひとつのジャンルだから、そういう「謎解き」や「ギミック」を念頭に置いて見るよね。（例えば『マルホランド・ドライブ』の楽しみ方とか）

フラットに、強者と弱者が軋轢する愛憎の夢物語としても観れるんだけど、もう一段階「考える余地」がおまけとしてあります。

「気づいた人」も沢山いるし、「気づかなかった人」もたぶん同じくらい居て、でも「よくわからない部分もあるけど面白い」って感想もすごい多いように、

どちらでも楽しめる構造です。

僕のなかの正解はあるけど、観客のそれぞれに正解があっというんです。

まああそこだけが全てという訳ではないのですが、戯曲という体裁なので、小説のように何度も読み直して楽しんでももらえれば嬉しいです。その為にいくつかヒントも加筆しました。どこかで「気づく」きっかけになって欲しいな。

村上春樹の小説『国境の南、太陽の西』に出てくる島本さんが、実は「幽霊なんじゃないか」と気づいた瞬間、読み終わったあとから、随分経ったあとだけど、すべてがバーツと開けるあの瞬間のような。そういう挑戦や余地があります。

劇場で全部判ろうとしなくたっていいんだよね。

それが演劇の文学性でもあると信じています。

ぼくが演劇に求めているのは、暇つぶしなんかじゃなくて、文学性なんだ。

いずれこれが飛び火して、バンドの曲のように、どこかで誰かがやってくれることを夢見ています。高校生の子たちとか、新劇の人たちとかでも、面白いよね。

どうぞごゆっくりお楽しみください。

ハセガワアユム (MU)

△シーン1▽

舞台は西東京にある切多摩市の駐在所。

東京とは名ばかりの訛っていないだけの田舎に過ぎない。

簡単なデスクとイスがあり、デスクに和田がいて、町子が泣いている。

町子 男の人はね、あとで気づくの。

和田 . . .

町子 世の中の起きてる事全部に、意味があるんだってことが判ってないのよ。

和田 . . .

町子 . . . 聞いているの？

和田 聞いているよ。

町子 じゃあなんか返事してよ。

和田 聞いてはいるけど、リアクションできないだろ、そんなの。

町子 だから、あたしはあたしなりにずっとサインを送ってたの。

和田 だから、あたしは悪くないってか。

町子 悪くないとはいってない。・・・だから、2人で謝りに来たんじゃない。

間。

和田、奥の部屋にいる鬼塚の方を見やる。

和田 なんだ、あいつ。昼間から酒呑んでんじゃねえか。

町子 あれはお神酒で、

和田 お神酒？

町子 景気漬けというか、あの人なりに謝るのに勇気がいるって、現を担ぐってというか、

和田 それで人の職場で仮眠とられちゃ、たまったんもんじゃないんだけど！・・・現??？ 言葉選べ

よ！

和田、椅子を軽く蹴ってしまう。

町子 ……(泣く)

和田 泣くな！ は？ 町子、町子、町子、町子、

町子 連呼しないで！

和田 ・・俺、振られるのか。

町子 (頷く)

和田 いろいろ我慢してさあ、

町子 我慢してたのは、あなただけじゃないでしょう？

和田、警棒をいじる。

町子 なんで！？ なんで警棒いじるの？！

和田 チェツク。

町子 なんの？！ 殴るんでしょ？ あのひとのこと殴るんでしょ！？ 死ぬわよ！！ そんなので殴つたら。

和田 殴らないって。チェツク！

町子 だからなんの？！ (キレて) 殴るなら、あたし殴りなさいよ！！！！

和田 ・・・

町子 悪いのは、あたしでしょう。鬼塚さんは悪くないのよ。

和田 寝取られた。

町子 ねと？

和田 普通、マンション買う頭金まで溜めたのによお、寝取られるか?!

町子 あたしは、別にマンションなんか、

和田 マンションでも買わなきゃ、お前この町出ないだろ。

町子 だから出たくないんだって。

和田 このままここに居たら、おまえずっと弱いままだぞ。

町子 . . .

和田 なんの仕事やっても上手くいかなくて、ストレス溜めてつまんない万引き繰り返してよお、糞田

舎の小さい町で、笑われもんだぞ。

町子 (涙目) 笑われもんじゃない。

和田 強くなりたいて言っただの、町子だろ。

町子 . . わたし弱いままでいい。

和田 弱いままでいい訳なんか無いだろ絶対。

町子 なんで?! 鬼塚さんは判ってくれた!! . . あの人も弱いから。

和田 知らねえよ! なんなんだよ、あいつは!

町子 あの人は、湖に浮かぶ木やゴミを拾って、ゲージユツを創ってるの、

和田 ルンペンだろ! 占有離脱物横領罪で逮捕してやるよ。

町子 やめてよ！

和田 ・・そんなにあいつの具合がいいのか？

町子 具合？

和田 セックスのことだよ。

町子 和田くん。

和田 (警棒を股間に振りかざし) これくらいあんのか??

町子 和田くん!!!

和田 帰れ! 帰れよ!!!

町子 許してくれるの?

和田 許さねえよ!? 許さねえけど、帰れよ! いま仕事なんだよ!! 一昨日来い!!

町子 ・・・

和田 これだけは言うておくぞ。 ・ ・弱い人間は、弱い人間と力を合わせたって強くなれない。

町子 (呟く) 和田くんみたいな強い人には、判んないんだよ。弱い人の気持ちか。

和田 これが弱い人たちのすることか。

土下座する町子。

町子 本当ごめんなさい。

和田 この、ウンコ女。

町子 ごめんなさい。

和田、町子の腕を掴み、連れて行こうとする。

町子 え？ え？

和田 トイレだよ、

町子 トイレ？

和田 いいから、来いよ。ウンコ女。

町子 殴る気？

和田 (警棒を置く) いいから来いよ。

2人去る。

奥の部屋から、高崎と野間が出て来る。

高崎 (小さく) ふざけんなよ、

野間 なあ、捕まえてくれて。

高崎 いいからいまのうち、帰れ。

野間 何でだよ、俺自首しに来てんだぞ！

高崎 馬鹿野郎、声でけえんだよ！

野間 あの2人、100%やってるだろ。

高崎 やってるからこそ静かにしろ。いまのうち帰れ。

野間 なあ、これだけでも受け取ってくれよ。

野間、シユークリームの箱を差し出す。

高崎 マジでふざけんなよ。犬の死体なんか受け取れるか。

野間 そう言わずにさあ、

高崎 裏山にでも埋める。もしくは喰え。

野間 無理だよ、犬だぜ。

高崎 お前がやったんだろ、しかも御丁寧に保冷剤まで入れやがって。これ(箱)も、

野間 不二家だよ。

高崎 不二家潰す気か！

野間 なに不二家の味方？

高崎 犬の味方だよ！！

間。

高崎 野間さ、・・・おまえが人生のレール踏み外したのは、俺がよく知ってるから。

野間 (嬉しそう) 幼なじみ。

高崎 嬉しそうに喋るな！ 恐いんだよ！・・・だからさ、おとなしく病院行けって。

野間 刑務所行きたいんだよ。

高崎 野間。

野間 高崎、頼むよ。助けてくれって。このままじゃ俺、(ぶるぶる震えて) すごいことしちまいそうなんだ。

高崎 ……。

高崎、無言のまま野間を追い出しにかかる。抵抗する野間。

高崎 そうやって昔っからすごいことするすごいことするって、

野間 なかなか時代が俺に追いつかないんだよ、

高崎 そう言って10年経つだろ。

野間 (携帯を取り出し) ・ ・俺、最近ケータイ小説書き始めたんだ。

高崎 ・ ・時代に乗ろうとしたのは偉いけどさ。諦めて、入院しろ。

野間 ノンフィクションだぜ。

高崎 ブログだろ。

野間 小説だよ。

高崎 ブログだろ。

高崎 小説ってことしておかなきゃ、ヤバいんだよ。

野間 は？

そこに衣服の乱れた町子がトイレから逃げ出して来て、二人と目が合う。

町子 ・ ・お疲れさまです。

2人 ・ ・お疲れさまです。

鬼塚が寝ている方へとよろよろ歩く。

和田 (小さく声が聞こえる) 待てコラ……

町子、慌てて逃げ出そうとして、一度倒れて靴が脱げる。

そのまま裸足で逃亡。

トイレから、腕を押さえた和田が遅れてやってくる。

高崎 えーっと、

和田 彼女だよ。糞、痛ツツえええ。あいつ噛み付きやがった。(腕を見せて) 暴行の現行犯だよ
高崎 彼女捕まえちやます？

和田 ……もういいよ。痛ツええ。

高崎 あ、消毒。

和田 いいから。

和田、デスクから薬箱を出す。

和田 (野間に気づく) なんだ、またきみか。

野間 (嬉しそう) こんちわ。

和田 どう調子は？

野間 まあまあ、です、はい。

和田 あそこどうなの？ 市の、運営してる、あれ、赤鬼相談所だっけ。

野間 はい。

和田 お、いい顔になった？

野間 はい！

和田 ・・よかったねー。

野間 和田さんがあそこ紹介してくれたおかげです。・・ふ、ふ、あの、これ(シユー クリーム

の箱を和田に差し出す)

高崎 馬鹿馬鹿馬鹿馬鹿、

和田 馬鹿？

間。

野間　ちよっと・・・捨てて来ます。

2人　え？

和田　シュークリームでしょ？

野間　・・・腐ってたんで。へへへ。

和田　・・・そう。

野間、出てゆく。和田、治療を再開しつつ、

和田　いてて・・・お前の友達ヤバイぞ。・・・なんで腐ったシュークリーム持ち歩いてんだよ。

高崎　すみません。

和田　赤鬼相談所ってさ・・・

高崎　すごい名前っすよね。

和田　本当に効果あるの？

高崎。落ちている町子の靴を拾う。

高崎　や、俺も詳しくは。なんかあれですよ、童話の『泣いた赤鬼』みたいな境遇の、周りに友達と

かいない孤独な、コミュニケーション不全な連中が集まるところつすよね。

和田 切多摩市在住の赤鬼たちが大集合だよ？（鼻で笑う）余計心荒むだろ。

高崎 ははは。市の予算余ってるんすかね。

和田 あいつ友達いんのにな。

高崎 え、

和田 お前、友達だろ？

高崎 ・・はあ。まあ。

和田 なんだよ、曖昧だなあ。

高崎 そういう和田さんこそ、なんすかこれ（傷）。さっきの彼女なんすよね。

和田 まあな。

高崎 曖昧だなあ。

和田 お前、彼女に噛まれたことある？

高崎 ・・ないっす。

和田 レイプ犯みたいだよな、これじゃ。

高崎 プレイっすか。

和田 馬鹿かお前。

奥の電話が鳴る。高崎、靴をデスクの上に置き、電話を取りに行く。

高崎 はい、こちら切多摩・中西駐在所です。

和田、靴を見つけ、見つめる。

高崎 はい・・はい、え、この声、小田さん？ あの、困るなあ、110番してもらえます？ だから、ここに直接かけないで。まずは、110番して。はい？警察ですよ、警察ですけど、直接ここかけられちゃうと、伝達がね、え？ 女？

その声の裏で、和田が靴を手にする。

和田 馬鹿だ。

高崎 マジっすか???. あ、はい！ じゃあいきますから！ (駆けて来る) まずいっすよ、和田さん。

和田 どうした？

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

死んだ赤鬼（おためしサンプル）

2011年9月27日 初版発行

2011年9月27日 改訂（ver.5.000）

著 者 ハセガワアユム © 2011年

発行者 石村寛之

発行所 有限会社レトロインク

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7

電話 0422-49-2903
